

文化飛翔

平成19年度事業実施状況～この1年間の取り組み～

よこがお ～会員紹介～

トピックス&インフォメーション

リレーエッセイ文化の小径

2008

春号

Vol. 2



平成19年度事業実施状況

この1年間の取り組み

昨年の3月に新生・山口県文化連盟が発足して、早くも1年が過ぎました。この間、加盟団体相互の情報交換や交流などを通じて連携強化を図るとともに、県や関係者と連携し、多くの県民の皆さんの御参加をいただきながら第1回山口県総合芸術文化祭を開催するなど積極的な活動を展開しました。

■加盟団体相互の連携、交流及び情報発信の促進

(1) 総会、理事会の開催

○総会

設立総会

平成19年3月26日(月) 県庁

通常総会

平成19年5月31日(木) ホテルニュータナカ

○理事会

平成19年5月31日(木) ホテルニュータナカ

平成20年3月25日(火) 県庁

(2) 設立記念パーティの開催

平成19年5月31日(木) ホテルニュータナカ

* 出席者276名

(3) 情報発信

○会報の発行 年2回(9、3月末)

3,000部/回

会報「文化飛翔」を創刊し、加盟団体をはじめ、関係先等に広く配付しました。

○ホームページの開設

山口県の協力により、規約、事業内容等本連盟に関する情報をホームページで公開しました。

URL <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a19300/bunka-ren/index.html>

(4) 賛助会員の入会の促進

個人、企業等多方面に向けて幅広く入会の御案内を行い、個人、団体を合わせて、79の賛助会員が入会されました。(P8で賛助会員の皆様を紹介しています)

■後援名義の提供

団体や個人が行う次の文化事業に対して、後援名義を提供しました。



(平成19年度実施事業)

事業名	主催者	期日・会場
1 NHK交響楽団トップメンバー&コーラス・ジュニアによるクリスマスキャロル	特定非営利活動法人子どもとともに山口県の文化を育てる会、N響メンバー&コーラス事業防府実行委員会	平成19年12月16日 防府市公会堂
2 第31回 t y s 山口県学生ピアノコンクール	t y s テレビ山口、毎日新聞社、山口県音楽協会	平成20年1月12・20日 山口県教育会館
3 青少年の心を育てる特別学校コンサート	シユルンマーリート国際コンサート の会	平成19年6月14~22日 県内の中・高校他
4 第34回防府市(近郊含む)芸術演奏会(新人・一般)	防府音楽協会	平成19年8月26日 アスピラート
5 バンブーシンフォニアコンサート竹楽器フェスティバル 国際音楽の日記念事業 青少年へのメッセージ『生きる』	《竹》創造のまち山陽小野田実行委員会	平成19年7月29日~30日 平成20年2月24日 山陽小野田市文化会館他
6 第1回山口県書を楽しむ人たち展	山口県書を楽しむ会	平成20年2月26~3月2日 下関市立美術館
7 親子のコーラスセミナー	山口県母の合唱連盟	平成20年2月3日 山口県教育会館
8 フランスの風2007コンサートシリーズNo.3~日仏交流150周年記念イベント~	シユルンマーリート国際コンサート の会	平成19年12月14日 ニューメディアプラザ山口
9 文部科学省現代GP支援事業「ルーラルファッションショー」クリスマスファッションショーVOL. V2007 'Slow Life Yamaguchi'	山口県立大学服飾研究会	平成19年12月23日 山口県立美術館
10 ガムラン楽舞劇「桃太郎」山口公演	山口県立大学服飾研究会	平成20年3月23日 山口県立大学
11 第10回 I K E B A N A 展	下関市いけばな連合会	平成20年3月6~10日 下関大丸文化ホール

■山口県文化芸術振興条例制定記念
県民フォーラム「いま、文化力」
の時代」の開催



山口県文化芸術振興条例の制定を記念して、文化力による元気県づくりの可能性について考える県民フォーラムを開催しました。

○開催日 平成20年2月15日(金)

○会場 山口県立山口図書館レクチャールーム

○プログラム
・基調講演

「21世紀の地域づくり〜文化力の時代〜」

講師 川勝 平太(静岡文化芸術大学学長)

・シンポジウム

「文化芸術で山口県を元気にしよう」

コーディネーター 和仁 皓明氏

(西日本食文化研究会主宰)

パネリスト

片山 涼子氏(山口県立大学大学院生)

西崎 博史氏(財団法人周南市文化振興財団常務理事)

村上 謙一郎氏(合唱指揮者)

横山 眞佐子氏(児童書店「こどもの広場」代表)

コメンテーター 川勝 平太氏

○出席者 210名

○主催 山口県、山口県教育委員会

○共催 山口県文化連盟

■県外の文化団体との連携

中国・四国ブロック圏域文化団体連絡会議へ出席し、各県の文化団体との情報交換等を行いました。

開催日 平成20年1月30日(水)

会場 サンラポールむらくも(島根県松江市)

出席者 中国ブロック5団体

四国ブロック2団体

■第1回山口県総合芸術文化祭の開催

○主催 山口県、山口県教育委員会

山口県文化連盟、関係団体

○共催 各市町、各市町教育委員会

(財)山口県文化振興財団

○協賛 第22回国民文化祭

とくしま2007協賛事業

○後援 報道関係各社

(朝日新聞社、エフエム山口、共同通信社、産経新聞社山口支局、時事通信社、中国新聞防長

本社、TYSテレビ山口、西日本新聞社、日本

経済新聞社山口支局、NHK山口放送局、毎日

新聞社、YAB山口朝日放送、山口新聞社、K

RY山口放送、読売新聞西部本社)

○開催期間 平成19年7月〜12月



区分	開催内容	開催時期、会場
総合フェスティバル	○メインステージ ・中原中也将テーマとした創作公演『アンソロジー「中時の時間(とき)」』等	11月3日(祝・土) 山口市民会館
	○移動公演 ・メインステージで発表した創作作品の移動公演 ・地元の文化団体等の公演を併せて実施	12月2日(日) ルネッサながと 12月24日(振休・月) シンフォニア岩国
	○ふるさとのアーティスト 記念コンサート ・山口県出身の若手アーティスト等を紹介するコンサート等	11月4日(日) 山口市民会館
	○子ども夢プロジェクト大発表 ・子ども夢プロジェクト実施グループが集合して発表	11月10日(土)〜11日(日) 山口情報芸術センター
美術館特別企画	○ミュージアム・タウン・ヤマグチ2007 ・(HEART2007) 山口県美術展覧会を核としたイベントを開催	8月18日(土)〜9月9日(日) 山口県立美術館
	○「現在形の陶芸 萩大賞展」 ・陶芸の公募作品展	12月15日(土)〜1月14日(祝) 山口県立萩美術館 浦上記念館
分野別フェスティバル	○分野別フェスティバル(20事業) ・分野別団体による音楽、文芸、生活文化等のイベント	7月〜12月 県内全域

このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介していきます。

山口文化協会

会長 加藤 耀子
〒75318650
山口市亀山町211
山口市総合政策部文化政策課内
電話/083193412718



山口文化協会は、昭和44年に山口市に創設されました。以後多くの先輩・市民の皆様を支えられ、平成21年度には創立40周年の節目の年を迎えます。現在、山口市内にある文化団体72団体、会員約3000名からなり、分野は文芸・美術・生活文化・文化財・邦楽・洋楽・舞踊・演劇・演芸など多岐にわたります。

主な活動としては、市民文化祭、文芸俳句・川柳・短歌大会の開催や、広報誌「山口文化」の発行などがあります。毎年行う市民文化祭では、和・洋・新(創造・旧(伝統文化)のその道を習熟した方々と若き担い手達が、それぞれに培った理念と日頃の成果を持ち寄り創作する喜びを感じ合いながら、多くの参加者や観客の交流の場として広がっています。

昨春秋に開催された「第1回山口県総合芸術文化祭」では、芸術・文化の創造に対し熱い想いを持つ県民の方々と創作公演「アンソロジー中世の時間(とき)」をつくりあげる機会に恵まれました。多くのふれあいと新たな刺激を受けながら制作された作品は、山口・長門・岩国の3会場で公演されましたが、約2800名の方にご来場いただき、参加者に多くの感動を与えてくれたものと確信しています。

今後も山口の文化を大切に、心の交流を深めていくとともに、これまでに培われた文化を次世代へ伝承しつつ、人々を魅了し、愛され続ける山口文化協会でありたいと思っています。
※写真 創作公演「アンソロジー中世の時間」

和木町文化協会

会長 岡本 勝之
〒74010061
玖珂郡和木町和木2丁目15番1号
電話/082715212191

和木町文化協会は、平成4年3月和木町文化館の竣工を機に創設されました。志を同じくされた方々が郷土の文化を掘り起こそうと、泉洋前会長を発起人として協議を重ねた結果、公民館講座生を中心に680名の方が会員となり発足したものです。

今年で17年目を迎える文化協会は、現在約800人の会員で構成され、「緑の風薫る文化のまち」を標榜する和木町では、町民の芸術・文化への造詣が深く、文化協会を中心に多方面にわたる文化・芸術活動が活発に行われています。

文化協会の主な活動は、秋に「文化祭(展示会・芸能祭)」を主催するほか、音楽コンサート、美術作品展、文化講演会の開催、協会の傘下団体が開催する発表会や展示会等への支援と補助金の交付、文化の振興に寄与した会員の協会表彰等を行っています。

また、毎年2回(9月と3月)、協会広報紙「和木ぶんか」を発刊し、町内全戸にお届けしており、カラー印刷の「和木ぶんか」はとてもきれいで読みやすいと町民から好評をいただいています。

毎年、月に1回の割合で様々な催物を開催していますが、平成18年に文化協会発足15周年記念事業として和木美術館で開催した、日本画の巨匠「平山郁夫画伯」絵画展は、3,450名もの方々に日本画の素晴らしさを鑑賞していただき、大変な好評を博しました。

文化協会としましては、これからも出来るだけ多くの魅力的な催物を開催し、文化施設である、和木町文化会館、和木美術館、総合コミュニティセンターの利用率を高めていきながら、町の文化振興の中核組織として和木町の文化の発展に貢献できるように努力してまいります。



山口県音楽協会

会長 末廣 正巳
〒75410001
山口市小郡上郷
山口芸術短期大学内
電話/083197212880

本協会創立当時、山口県の音楽芸術文化活動は、管弦楽、吹奏楽、合唱といった団体活動の組織はありましたが、音楽で最も基本となる個人部門の育成組織はありませんでした。そこで、昭和48年4月、初代会長・森本覚丹先生の提唱で、「本県の音楽家の演奏及び創作活動を向上発展させ、音楽文化の普及に資することを目的」として本協会が発足、現在次のような事業を行っています。

◆山口県芸術演奏会

「山口県総合芸術文化祭」の分野別フェスティバルとして、県内9地区の持ち回りで毎年開催しています。山口県の在住者及び出身者で第一線で活躍中の音楽家による演奏「一般の部」では芸術音楽の普及に、本県出身の若くてフレッシュな音楽家たちによる演奏「新人の部」では新人育成に努めています。これらのステージを踏んだ者の中にはその後国内外のさらに大きなステージで活躍する人が出ていることは、大きな成果といえるでしょう。

◆音楽活動の共催、後援、協賛事業

協会の音楽活動を支援するために、会員が行う音楽イベントに対し後援や協賛を行っています。また本県の音楽文化の向上のために、tys山口県学生ピアノコンクールなど他団体の主催する事業に対し共催も行っています。

◆出版事業

協会員相互の交流を深めるために毎年「会員名簿」を発行。また今年度は創立35周年にあたることからこれまでの活動を総まとめの活動の成果を明らかにします。(平成20年3月末刊行予定)
◎平成19年度会員数
・一般会員…194名
・賛助会員…(個人)1名(企業・団体)10名



山口県歌人協会

会長 森重香代子
〒75010003
下関市阿弥陀寺町3-14 大司方
電話/083123414015

創立 昭和39年
会員 約650名
役員
顧問 中西 輝磨
玉野由槻雄
音羽 晃
会長 森重香代子
副会長 河野 てる
ほか理事9名 監事2名
活動状況



毎年1回、山口県歌人協会「短歌大会」を開催し、全県内より一般の部約600首、小・中・高校生約4,000首を募り、優秀作品を顕彰し、中央歌壇より講師を招聘して講演会を開き、山口県歌壇の向上を図っている。

平成18年11月行われた「第21回国民文化祭・やまぐち2006やまぐち「短歌大会」には、県内小・中・高校生の短歌応募数22,753首、全国の一般の部・小中高校生の部を合わせ39,486首と過去最高記録のもと盛大かつ有意義な大会を岩国市で開催した。



今後の予定・抱負
山口県の歌人の増加と若返り、また感性豊かな人間を育むためにも小・中・高校生の短歌への取り組みを推進し、山口県短歌会の向上発展を目指したい。

山口県中学校文化連盟

会長 白杵 裕世
〒74710808
防府市桑山2-17-126
桑山中学校内
電話/083512212182

山口県中学校文化連盟は、平成17年に発足した生まれて4年目の団体です。平成17年は折しも国民文化祭の前年度で、ブレ国民文化祭の協賛事業として、記念すべき「設立記念総合文化祭」を防府市において開催しました。また、全国の中学校文化連盟からの要請もあつて、同年8月に神奈川県で開催された「第5回全国中学校総合文化祭」に吹奏楽と合唱を派遣しました。

2年目の18年度は宇部市を会場として「第2回総合文化祭」を開催し、東京都で開催された「第6回全国総合文化祭」に管弦楽を派遣しました。

3年目の19年度は岩国市で「第3回総合文化祭」を開催し、東京都で開催された「第7回全国総合文化祭」に吹奏楽を派遣しました。

このように山口県中学校文化連盟は山口県内の中学生の文化活動を紹介し、生徒同士の交流を深める総合文化祭を県内7地区が持ち回りで開催することと、全国の総合文化祭に山口県の中学生の文化力を紹介する事業を中心に活動しています。

今年度からは山口県文化連盟の一員に加えていただきます。中学生の文化活動も視野に入れていただいていることに感謝し、一層の文化活動を推進していく所存です。

平成20年度は11月8・9日に下関市で「第4回総合文化祭」を開催します。多くの県民の皆さんにご来場いただき中学生のあふれるエネルギーを感じていただきたいと思います。



(財)下関市文化振興財団

理事長 安藤 和津
〒75010025
下関市竹崎町4-15-11
電話/083123116401

設立は、昭和52年4月(財)下関市民会館管理公社として発足。平成10年4月、文化施設の管理運営及び文化事業を行うことにより下関市民の文化活動の振興を図る事を目的に、(財)下関市文化振興財団と名称を改めました。

平成17年2月下関市と豊浦郡の合併により、下関市民会館と菊川ふれあい会館を拠点に、内外で活躍する一流芸術家による公演など財団独自、または関係諸団体との共催などにより企画、実施することで市民がレベルの高い芸術文化に触れる機会を多く提供する事に努めています。

文化振興に向けて組織された「友の会」の拡張・内容の充実などに努力するとともに、市内の小中学校を対象にした学校公演をはじめ、各地域の市民を対象にした地域公演を定期的に実施する事により広範囲における地域文化の活性化をめざしています。

本年度は、市民会館開館30周年を迎えNHK交響楽団演奏会を中心に多数のイベントや、市からの受託事業として朝鮮通信使行列再現事業を実施しました。これらの広報業務として、文化関係イベントの情報収集・情報発信のため、財団のホームページ、情報誌「かるちゃあガイド」の毎月発行、FMラジオによる催し案内で文化団体の活動状況等も広く市民に紹介しています。

来年度は文化振興財団となつて10周年にあたり、市民に参加を呼びかけ「第九」の演奏会を予定しており、今後市民の文化活動のニーズに対応し、少しでも多くの市民が文化にふれあえるよう文化振興の役割を担っていきたくと考えています。



～文化芸術の力で心豊かな元気県づくり～

山口県文化芸術振興条例

145万人の来場者を迎え、山口県民のすぐれた文化力を全国に発信した、“国民文化祭やまぐち2006”。この国民文化祭で培われた文化維新の精神を継承して、文化芸術の力で「住み良さ日本一の元気県」を築くため、その基盤となる条例が、昨年12月に制定されました。

■ 制定の経緯

この条例は、昨年5月に設置された「山口県文化振興条例検討懇話会」（委員10名。会長 田村幸志郎山口県文化連盟会長）により、内容の検討が行われたものです。

条例案の検討に当たっては、県民の意見を広く聴くための「パブリック・コメント」が行われたほか、8月には、県内5会場で「地域懇談会」が開催され、本連盟の会員も多数参加しました。

条例検討懇話会では、5回にわたる集中的な審議を経て、昨年11月に、「山口県の文化振興に関する条例検討報告書」を二井関成知事に提出。県では、12月県議会に条例案を提案し、同月21日の山口県議会本会議で、条例案は可決、成立しました。そして、平成19年12月25日、「山口県文化芸術振興条例」（平成19年山口県条例第55号）が公布され、同日施行されました。

山口県文化芸術振興条例は、文化芸術による元気県づくりの決意を述べた「前文」、文化芸術振興の基本理念、県や県民の役割、県が行う基本的な施策、そして県民の意見を文化行政に反映するための「審議会」の設置について定められています。

■ 条例制定の背景

山口県では、長い歴史を経て、個性豊かなふるさとが形づくられてきました。今日、経済効率優先の風

潮は、人間関係の希薄化を招き、心のゆとりを失わせています。

このような時代に、日々の暮らしに潤いを与え、人々に生きる喜びをもたらしてくれる文化芸術を、一層身近なものとするのが求められています。

子どもの頃から文化芸術に親しみ、多様な文化芸術を生活の中に生かしていくとともに、ふるさとの魅力を内外に発信し、人々と喜びを分かち合っていくことが、県民の願いであるといえます。

そこで、国民文化祭やまぐちで発揮された「文化芸術を尊重し、その創造にチャレンジする」文化維新の精神を受け継ぎ、県民一人一人が燦めく元気県を築くため、条例を制定したものです。

■ 条例の内容

【目的】

文化芸術を振興することにより、心豊かで潤いのある県民生活と、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現に寄与することとしています。

【基本理念】

条例では、文化芸術による元気県づくりの基本となる考え方として、次の6つの基本理念を掲げています。

○ 県民の自主性と創造性の尊重

○ 県民が等しく文化芸術活動に参加できる環境づくり

○ 県民、文化芸術団体、文化施設、学校、事業者、市町、県等の協働による取組

○ 多様な文化芸術の発展と国内外への発信

○ 地域の特徴ある文化芸術の発展と継承

○ 地域社会発展の基盤である文化力の向上

【県の主な取組】

○ 文化芸術活動の充実

山口県総合芸術文化祭など、県民が文化芸術活動に参加する機会を充実するとともに、次代を担う子どもたちの文化芸術活動の充実を進めます。また、地域の特徴ある文化芸術の振興を図るとともに、文化芸術に関する交流を促進します。

○ 文化芸術の基盤整備

本県の文化芸術発展の基盤となる担い手の育成や、文化芸術の拠点である文化施設の充実を図ります。また、企業メセナや文化ボランティアなどの活性化を進めます。

○ 県民参加による文化行政の推進

計画的に文化行政を進めるための「基本方針」を策定するとともに、県民の意見を文化行政に反映するための「山口県文化芸術審議会」を設置します。



平成20年度 山口県主要施策の概要 (文化関係)



注目!

☆やまぐちの文化力推進事業 (新規)

■インターネットを活用した県民と文化団体等の活動をつなぐ場の提供

- ① 文化情報の三元収集と付加価値を高めた情報の提供
文化団体や文化施設等が実施する文化イベントや募集案内等の様々な文化情報を一元的に収集・データベース化し、付加価値を高めた文化情報を提供
- ② 県民レポーターによる文化芸術活動のPR等
県内各地で開催される文化芸術活動に県民公募によるレポーターを派遣し、意見や感想をホームページに掲載

■文化人材バンクの設置

文化団体等の協力を得て、地域や学校等へ派遣可能な芸術家等の情報を収集・登録し、ホームページで紹介

☆山口県総合芸術文化祭推進事業 (継続)

■メインフェスティバル

開催時期…11月1日(土)～3日(祝)

開催場所…長門市 ルネッサながと

① 県民創作型公演

山口県の文化資源等をテーマとして、県民が手づくり創作する舞台公演

② 地域文化を活用した取組

地域の文化資源を生かした独自の文化活動の発表

③ ふるさとアーティスト公演・展示

県出身アーティストを紹介する公演や作品等の展示

④ 子ども夢プロジェクト

次代を担う子どもたちの夢の実現を支援

■分野別フェスティバル

開催時期…7月～12月

開催場所…県内各地

■やまぐちの文化力推進事業
山口県文化芸術振興条例の制定を契機として、県民と文化団体等との結びつきを強化し、県民の文化芸術活動への参画促進を図るため、情報収集・提供機能を充実強化します。

■美術館まちなか交流促進事業
美術館を核に、地域住民、関係団体が連携・協働してアートイベントを実施することにより、美術館や地域の新たな魅力の創造と発信を図ります。

■山口県総合芸術文化祭推進事業
国民文化祭で培われたノウハウやネットワークを生かし、県民の自主的・主体的な文化芸術活動の成果を発表する場として「山口県総合芸術文化祭」を開催し、さらなる文化力の向上を図ります。

■秋美術館・浦上記念館秋焼展示施設整備事業
萩美術館・浦上記念館に、陶芸美術館の機能を付与し、美術館としてのより一層の魅力を発揮するため、隣接地に陶芸展示施設を整備します。

県では文化関係施策を推進するため、今後、文化団体や文化施設等に対して広く情報提供や事業参画等呼びかける予定にしております。山口県文化連盟として積極的に県の施策に協力していきたく思います。

■山口県文化芸術振興条例及び平成20年度山口県主要施策 (文化関係) に関するお問い合わせ先
山口県文化振興課：TEL 083-933-2610/FAX 083-933-4829/E-mail: a19300@pref.yamaguchi.lg.jp
ホームページ：http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a19300/index/

田村幸志郎山口県文化連盟会長が 旭日双光章を受賞されました

本連盟の田村会長が、昨年の秋の叙勲で旭日双光章を受賞されました。
田村会長は、やまぐち市民文化の会会長、やまぐち県民文化祭実行委員会会長、国民文化祭実行委員会副会長等を歴任し、長年にわたり文化芸術の振興に貢献してこられました。また、国民文化祭ややまぐちを契機とする新生・山口県文化連盟の設立に主導的な役割を果たされたほか、山口県文化振興条例検討懇話会会長を努められるなど、本県の文化芸術の発展のため、精力的に活動しておられます。

平成19年秋の文化・芸術関係表彰受賞者の皆さん

- 叙勲
田村幸志郎 (旭日双光章)
宮崎 進 (旭日小綬賞)
大和保男 (旭日小綬賞)
- 地域文化功労者表彰 (文部科学大臣表彰)
・芸術文化功労
清永唯夫 文芸／随筆
文化財保護功労
湯本南条踊保存会
- 山口県選奨 (芸術文化功労)
近藤 弘 文芸／川柳
陶山祐二 文芸／詩
玉野知之 文芸／短歌
坂東三嘉寿美 舞踊／日舞
- 山口県文化功労賞
石川 秀 一般文化／地域文化
上田俊成 一般文化／文化団体の活動
岡 正哉 美術／書道
菊広吟秋 音楽／邦楽
小林功於 美術／版画
竹内孝子 生活文化／華道
田中照通 音楽／作曲
野村忠司 文芸／詩
花柳佳寿広 舞踊／日舞
山崎凱千 音楽／文化団体の活動
萩川柳会 文芸／川柳

文化の小径

先達の色紙に学ぶ



山口県創作懇話会
会長 清永 唯夫

新年早々、テレビで人気ミステリー作家・内田康夫氏原作の浅見光彦シリーズ「耳なし芳一からの手紙」の放送がありました。下関の赤間神宮（旧阿弥陀寺）伝承にまつわるストーリーで、私が下関市立長府博物館々長時代に、内田氏がその作品を書くための取材で来館され、かなり長くお話をした思い出もあつて、テレビを見ました。その来館のおり、帰りぎわに、即興ですと言われて

・迷いきて土堀の路の夕時雨
の句をさらさらと書かれた色紙が今も私の手元にあります。句は城下町長府での感吟でしょう。

色紙といえば、私が直接お会いした文人方の色紙が、いつしか集まって数十枚。その中には書齋に掲げて常に心の糧としているものが何枚かあります。爲書のある劇作家・木下順二氏の色紙もその宝物の一枚です。書かれている文句は、

・人は未来を急ぎすぎる あまりに多くの 未清算の過去を残したまま

というもので、氏の源平壇之浦合戦を描いた群読劇『子午線の祀り』の初演はぜひ下関でというご意志により、この名作が昭和五十四年四月九日の夜、下関文化会館で初演の幕をあげましたが、その日の日中、いま一度火の山の山頂から海峡を眺めたいというご希望で、木下順二、山本安英、嵐圭史の三氏を一日ご案内したことから、後日、東京からわざわざ送って下さったもので、私自身の日常生活やしほしほ起る国際間の問題など、事あるごとに新鮮な教訓として私の心を打つのです。

いま一枚の色紙は、同じ長府に住み、常にご指導をいただいている直木賞作家・古川薫氏が、
・無能無才にして この一筋につながる

という、松尾芭蕉の玄住庵記の中の一筋を書かれたもので、氏が大切にしておられる心情です。ただし古川氏の場合は無能ではなく、有能にしてその一筋の日常を積み重ねておられます。先達はその折々に書かれた言葉は、教えられることも多く、私の「色紙ねだり」はこれからも続きそうです。

賛助会員募集の御案内

本連盟の趣旨に賛同し、その事業、運営等を支援して下さる賛助会員(個人又は団体)を広く募集しています。

年会費 1口年間 5,000円 (1口以上)

- * 賛助会員の皆様には、会報、その他文化情報誌をお届けします。
- * 入会受付は随時いたしておりますが、会員期間は入会日からその事業年度の3月31日までとさせていただきます。

申込み方法

所定の入会申込書兼振込書にて年会費のお振り込みをお願いします。

詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

編集後記

今回から、リレー随筆コーナー「文化の小径」を新たにスタートしました。このコーナーでは、本連盟の各分野で御活躍されている方に、これまで御自身が携わってこられた文化活動の魅力、うんちく、自身との関わり、今後の抱負などをテーマに自由に語っていただきます。次号はどなたが登場されるか、乞うご期待ください!

